

# 低炭素社会における家庭 —快適な居住空間と省エネの両立—

既存技術と見込まれる進歩で構築可能

太陽の恵みを活かした  
家作り

太陽光発電

3400-6900万kW  
(日本の屋根の25%~47%に普及(現在は1%程度))  
さらに、超高効率太陽光発電  
(変換効率30%以上)、色素増感太陽電池

エコライフ実践の  
ための環境教育

太陽熱温水器

普及率 20~60%  
(現在は8%程度)

環境負荷表示システム  
(家電・自動車 標準装備)

超高効率エアコン

成績係数(COP)=8,  
100%普及  
(注)成績係数とは消費電力  
1kW当たりの冷暖房能力(kW)

待機電力削減

33%削減, 100%普及

屋上緑化

高効率照明

【白熱灯→蛍光灯→イン  
バータ蛍光灯→LED照明等】

効率100%増加  
100%普及

高断熱住宅

暖房需要60%削減  
100%普及

燃料電池コジェネ

0~20%普及  
(現在は0%程度)

ヒートポンプ給湯

COP=5  
30~70%普及

お得で環境に役立つ  
情報の提供で  
人々の行動を  
より低炭素へ

高効率機器の開発・普及で  
少ないエネルギーで冷暖房・給湯需要を  
満たし安全・安心で快適な生活を